

# 令和7年度 三鷹中央学園 学園・学校評価アンケートまとめ

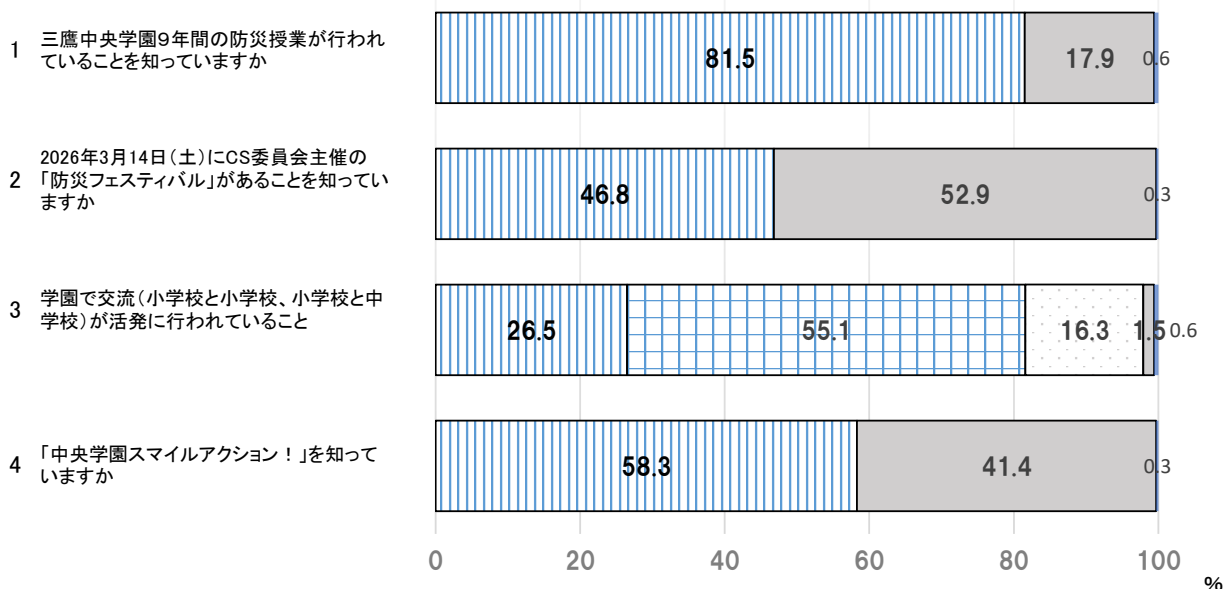
## 【三鷹中央学園】

資料1-①

アンケート実施日 : 令和7年10月24日～11月4日  
 アンケート対象者 : 三鷹中央学園(三小・七小・四中)保護者  
 回収率 : 722 / 児童・生徒数1552 (47%)

よく出来ている
  大体出来ている
  あまり出来ていない
  出来ていない
  未回答

はい
  いいえ



### アンケート結果から得られた成果と課題

※「肯定的回答」…「よく出来ている」「大体出来ている」の合計  
 ※「否定的回答」…「あまり出来ていない」「出来ていない」の合計

#### 成果

- 質問1「学園の9年間の防災教育」については、少しずつ周知度が上がり、今年度は81.5%となった。(R6 45.3%、R5 37%)  
 今年度、3月に実施する三鷹中央学園防災フェスティバルに向けて、学園全体で地域とともに準備を進めていることも影響していると考えられる。  
 教職員も授業改善を図るとともに、防災に関する情報をホームページや学校だより、学級だより等で発信する機会が増えている。  
 三鷹中央学園防災フェスティバルが9年間の防災教育を見直し、さらに充実させる機会となっている。
- 質問3「学園での交流活動」については、肯定的な回答が81.6%であり、昨年同様に80%を超えている。(R6 80.2%、R5 74%)  
 学園の交流委員会を中心に、小学校と小学校、小学校と中学校の交流活動を実施することができている。
- 質問4「中央学園スマイルアクション！」については、周知度は58.3%となり、昨年度を上回った。(R6 45.3%、R5 16%)  
 これをもとに学期の振り返りや目標設定を行い、面談等でも活用していることが周知度のアップにつながっていると思われる。

#### 課題

- 「学園の9年間の防災教育」は、少しずつ周知されてはいるが、教職員の意識をさらに高め、地域人財と連携した防災授業をつくっていくことが大切である。地域を巻き込む意味でも、保護者だけではなく、地域にもこの中央学園の防災教育を知ってもらう機会をつくってきたい。  
 また、学園生の防災に関する知識や技能を定着させるためには、学んだ知識や技能を披露する場を意図的につくっていくことが必要である。その方法を学園で考えていきたい。
- 「防災フェスティバル」の周知度は、46.8%であった。学園やCS委員会で企画した取組の周知の仕方は、時期や案内手段などを考え、効果的な方法を探っていく必要がある。
- 「学園での交流活動」は、すでに行っているものはさらに充実させるように工夫し、新たな取組については子どもたちの声を取り入れながら検討していきたい。
- 「中央学園アクションプラン！」は、学園生や保護者、教職員が身近に活用できるように、キャリアパスポートと連携させる方法を考えることが今後の課題である。